

協同造園県と県

プロの技に興味高める 石岡一高生へ梅剪定講習

県と県造園建設業協会（水庭博会長）は11日、県立石岡第一高校の生徒を対象に、水戸市の偕楽園で梅



永井副会長



指導を受けた生徒たちは真剣に剪定作業を行った

とで後継者育成や人材確保につなげることを目的に例年実施しており、今回で11回目。開催にあたっては、県水戸土木事務所偕楽園公園課や県学校教育部高校教育課などが協力した。

の剪定講習会を実施した。卓越した技術を持つ会員や名工が講師を務め、造園科の1年生の34人に剪定方法や道具の使い方などを指導した。

本講習会は、若い世代に剪定への関心を高めてもらい、身近に感じてもらうこ

冒頭に永井剛人副会長は「剪定の奥深さに触れ、興

味を持つてもらいたい。近い将来、造園業界に入職してもらえたら」と期待を示した。続いて、石岡一高の教員代表が「貴重な経験を通して将来を考える良いきっかけになれば」と講習会への感謝を述べた。

その後、生徒たちは班ごとに分かれ、偕楽園拡張部の狸々梅林（しょうじょうばいりん）で実習に臨んだ。最初は戸惑いも見られていたが、講師の熱心な指導を受けるうちに次第に表情が引き締まり、作業に没頭する姿が目立つようになった。